

防災情報WGの課題と検討方針

1. 防災情報WGで挙げられている課題と今後の検討方針

- ◎ 現在の「避難勧告等の発令判断支援資料」において発令区分が学区単位であり、実際の区分に即していないので改良が必要
→地区別避難判断基準の精度向上（発令区分の細分化）、およびマニュアルの更新
- ◎ 視認性の悪い既設簡易量水標の改良・保守点検が必要
→簡易量水標の視認性向上のための検討および実施
- ◎ 簡易量水標、河川防災カメラ等の新規設置が必要
→簡易量水標の新規設置
河川防災カメラの新規設置（検討中）
- ◎ 永源寺ダムの放流に伴う愛知川の水位上昇に関する詳細な情報が必要
- ◎ 隣接する市町で避難勧告等の発令に差異があるので情報交換や共有が必要
→（仮称）愛知川部会の設置と水位上昇に関する意見交換および情報共有
- ◎ 圏域内の主要な河川での水位予測が必要
→降雨規模と時間の関係からの水位変化を検討

2. 引き続き取り組む事項

- ◎ 「水害・土砂災害に強い地域づくり計画（素案）」の作成
- ◎ 地先の安全度マップや地域のリスク情報の住民への周知（出前講座等）
- ◎ 水害に強い地域づくり計画WG、土砂災害に強い地域づくり計画WGの実施検討
- ◎ 国交省の示した危険水位の設定の見直し